

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年8月19日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年8月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機原子炉建屋換気空調系排気設備のダストサンプラ(B)の不具合について】 2号機原子炉建屋換気空調系排気設備のダストサンプラ(B)について「2号サンプラB機器異常(気密モータ異常)」警報の発生を確認。 調査の結果、ダストサンプラ(B)の自動停止および気密モータの故障を確認。 ダスト濃度はダストサンプラ(A)にて測定・監視を継続中。 今後、気密モータの点検修理予定。	GⅢ	8月10日
2	【地下水バイパス一時貯留タンクGr2-2の水位計不良について】 地下水バイパス一時貯留タンクGr2-2の水位計異常の警報および計測範囲の上限超過を確認。 連結されている2基のタンクの実水位は、通常水位付近で安定していることを確認。 今後、水位計の点検修理予定。	GⅢ	8月13日
3	【乾式キャスク仮保管設備のエリア放射線モニタ(RIT003)の不良について】 乾式キャスク仮保管設備のエリア放射線モニタ(RIT003)について、「高」警報の頻発を確認。 モニタを再起動した結果、通常値に復帰し指示が安定したことを確認。 同エリア内に設置されている他の2台(RIT001、RIT002)のエリア放射線モニタの指示値に変動はなし。 今後、原因調査および対策を実施予定。	GⅢ	8月13日
4	【乾式キャスク仮保管設備における乾式キャスクの蓋間圧力の一部測定不能について】 乾式キャスク仮保管設備において、乾式キャスク1基の蓋間圧力の異常を示す警報が発生。 確認したところ、蓋間圧力計2台のうち1台が測定不能であることを確認。 もう1台の圧力計は測定可能。 先日の落雷当日、若干の指示値変動があったものの、計測に関しては問題なしであったが、8月13日に圧力検出器の異常を示す警報が発生したため、落雷が原因と推定。 今後、圧力検出器の交換予定。	GⅢ	8月13日
5	【増設多核種除去設備(A) 前処理設備のクロスフローフィルタ3、4A二次側流量調整弁の開度ずれについて】 増設多核種除去設備(A) 前処理設備のクロスフローフィルタ3、4A二次側流量調整弁について、現場の弁本体の開度と制御盤の開度にずれが発生していることを確認。 調査の結果、循環待機全閉時、制御盤の開度操作信号0%に対し、弁本体の開度に約10%のずれを確認。 設備運転時の開側動作には、特に異常なしを確認。 今後、弁本体の点検修理予定。	GⅢ	8月15日